

NOTÍCIAS DO BRASIL
Publicado semanalmente

Rua Conselheiro Furtado
No. 89
Caixa Postal H
S. Paulo, Brazil

Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas

por Anno	10\$000
" Semestre	5\$500
" Mez	1\$000
" Semana	\$800

儲けたと云へば、緒々商賣人が殖へる、乙が農業で成功したと聞けば農業家が續出すると云ふ有様である。然し仔細に之を觀察すると、強ち此の人眞似は全然獨創力を缺いた猿智恵大ではないので、物事を研究し考出す前の第一階段であるので、則ち其の證據には、徳川の晩年頃まで、醫者と云へば支那流の漢方醫、藥と云へば僅少な煎じ藥か富山の賣薬位であつたのが、今は醫藥にかけ

又日本に於ても甲州の八田達也氏の如きは明治初年に祖先傳來の養蠶法が不經濟なるを覺り、而かも甲州の氣候に適應する養蠶法を考へ出して種々苦心の結果遂に八田式養蠶法を編み出して、縣下の養蠶に一大改良を加へ、其の功に依つて明治兩陛下に拜謁の榮を賜はつたのであるが、苦心研究の結果は斯の如く自然を利用して、産業にも大なる改良進歩を與ふことが出来るので

又日本に於ても甲州の八田達也氏は目下工夫を凝しつゝある處であるが、之と同時に實際農業に従事せる人々各自が、自から奮つて大に研究心を養成すべきである、由來我が邦人は農業には大なる長所を有する、うはは先祖傳來の田畑を懇切に耕し、品質佳良なる農産物を作り出す、粗笨の農業には全然不馴である、仍て私共は能く伯國の農業事情を了解し、更に研究を重ねて確實に、且つ正當に、より多くの利益を收めてゐるべきである。

るまでに發達し、又造船業に於ても日本人には到底獨力にて大船の建造工業の如く顯著ではない、現在我が覺束なしが、英國技師から宣告を受國に於ても農業の殆ど全部は、今尙けたる日本が、最近二十年の間には祖先傳來の舊式を守つて少しも進非常なる進歩發達を遂げて、今は獨歩してゐない、一體農業は天候に依つて二萬里の船隻を造り、土に依つて支配されてゐる、人工で改

然しながら農業の改良は未だ製造て海外發展の目的を達する様に心ねばならぬのである。

◎農界資料

棉花栽培

(九)

殊に軍器に關しては、英國のドレツドノートに對する日本の超ドレツドノートを始め、砲銃彈藥等隨分世界に誇るに足るべき發明があるのである、要するに日本人は事を覺ゆる始めには、恰も小供の眞似事を爲すが如く、何も歟も眞似事を以て餘念なき様ではあるが、此の眞似事より漸次研究の域に進むに於ては、其處に偉大なる獨創力を發揮し得るに至るは、前陳の事實に徴するも明かである。

然らば研究は如何にすれば可いのであるか、是に研究者其の人に依つて種々異なるもので、別段一定の法則とてはないのであるが、學理と實に、之を採出すには開拓者が能く工

かの如く考へてゐる者も少なくない即ち科學の進歩した今日でも早魃の時には、鳴物入の雨乞を爲す者の絶へぬのを見て、是を證するに足るのである。

斯の如き空氣の中に、先祖代々育てられたる私共は、天然自然の儘未だ一回も斧を入れたことのない處女地を以て充さるゝ伯國に來つても、尙ほ依然として母國の陋習を維持することは是れ時代遅れである、既に屢々述べたるが如く、伯國は天惡の豊かなる國ではあるが、其の富たる多く地中や、森林に埋没して開拓者の手を下すを待つてゐるのであるが故に、之を採出すには開拓者が能く工

棉は播種してより凡う五ヶ月半に成熟し初め、下部の莢より漸次開裂する、之が第一回の採收となるのである、棉の收穫は豆或は玉蜀黍の如く、一時に之れをなす能はざるもので、先づ最初は下部より採收を初め次第に上部に摘み上げる、最初は下部の枝に屬する莢を摘み、次に中央の枝に附着するものを摘み、最後に上部の枝に残れるものを採収するのである、斯くの如くなれば收穫は三回に行ふ譯になる、第一回の採收を終りて數日を経へ第二回を行はば第三回即ち最後の採収は第二回の採收を終りてより二十日乃至三十日を經てなすものであるが地方の氣候の

變遷如何によつては二ヶ月又は三ヶ月後に最後の採收をなすことがある棉の採收に最も好時期なるは莢が開裂して瓣より垂れたる時で又採收をなすには日光の強き日を選ぶべきである、葉又は莢に朝露があるときは棉を汚色せしめる事が往々あるものである、採收に従事する男女、小供は清潔なる袋を前に下げ摘みたる棉を其の中に入れ充分摘みたるごき他の適當なる場所に（成丈日當りよき所）集め置くがよい。

所）一人の採收高は北米に於ては百五十封度より二百封度即ち八十七キロより百五十キロである由なれども普通は一入平均二十キロより二十五

獨逸が何事にかけても敏捷なことは、驚くの外はない。フライタツヒ、ロリングホウフエン男爵は陸軍中將で目下參謀副總長の地位に在る人だが、近頃一書を著はし、早に現戰爭より受けた教訓に順應して、將來の軍略、戰術、訓練、武撃に遇ふても平易しないのは、此の器等を如何に改革すべきかを研究し、訓練の結果に外ならぬ。是れは敵もてゐる。素人が考へても極めて至當な點や々々ながら容認してゐる。と首肯せられる事項がある。第一は「エゴード、バリー」に載つてゐたシエルフニス將軍の述懐でも判る。歩兵の有する機關砲を増加することである。歩兵戰には所謂肉弾的突撃の好む所に行く、其の結果非常な困

必要條件とし、其の中でも恐怖の方には之を反對に敬愛の方が主となつてゐる。智識の進んだ國民に對しては上長を恐怖せしむるよりも敬愛せしむる方が戰爭上に効力が多い。此の目的を達せむが爲めには、先づ以て立派な人格の將校を養成して兵士を薰陶させねばならぬ。さうして將校の選擇には家柄を顧慮せねばならぬ。北米合衆國でさへ華盛頓は只セントルメンのみ將校たるを得べき者と定

の慈善病院（サンタカーザ）寄附

七月三十一日迄なりしも尙ほ地方よりの送金絶々有之候に付き、寄附者の行爲を尊重するの主旨を以て、取扱期限を延長し、當分の間募集事務取扱可申候間無遠慮御送金被下度候

追て

一、封書の表面に「サンタカール・寄附金」と御記入被下度候

一、御送金取扱方は帝國總領事館に依頼致候間館宛御送金被下度候

Consulado Geral do Japão
Caixa postal 1167

ら將校を養成することに努めた。奈破翁の偉かつたのは、其の部下の軍閥が發達して能く首腦の指揮に服したからである。若し暴民政治が國家を治むるに由なしとせば、うれで軍隊を率ゐることのできないのは、猶

金
？
ま
れ

強等の器械戰を主とする必要が多
 くなつた。第二に、將來騎兵の數を
 現在の割合より増加する必要がない
 眞察の任務としては、飛行機が騎兵
 よりも迅速で正確で、さうして經濟
 的である。殊に今日の様に戰線が長
 く且つ複雑してゐる大戦では、騎兵
 斥候の効力が少い。併し一部又は小
 規模、乃至平原の對戰には騎兵は活
 動的兵力として頗る有効である。今
 後に於ける騎兵の訓練には、特に塹
 壕戰と歩行戰に耐へしむることに深
 甚の注意を要する。第三軍略よりも
 戰術に重きを置くことが必要となつ
 した。大體の軍略は參謀本部に一任し
 て然るべきであるが、實際に於ける
 作戰上の計畫は戰線の將校の最も留
 意すべきである。之に反し
 て獨逸人は眞成の兵士である、訓練
 は渠等の血肉となつてゐる、それが
 強勇の最大源泉である。』と感服して
 ゐる。第五は長期の兵役である。奈
 破翁は短期兵に由りて一時敵陣を破
 ることはできても、到底終局の勝利
 を收むることは六ヶ敷と云つた。英
 國兵は塹壕戰だけに耐へるが、活動
 戰には訓練が十分でない。兵役の期
 間は短縮してはならぬ。第六は人格
 の養成である。現戰爭で忠誠にして
 死を辭せざるのが獨逸兵共通の天稟
 であることが立證せられた。併し其
 よりも以上に明確となつた特色は、
 ツヒ、ロリングホフエン將軍の論
 旨の大體の骨子である。ううして結
 論の中には戰後陸海軍備擴張の必要
 なる所以を切言してゐる。獨逸人は
 他人が教を仰ぎに來る前から、とし
 自國の立場を公言してゐる。惡
 くさも悪いが、併し偉い國民である
 うかゝると大和魂のた株まで奪
 はれさうである。尤も此の著書は獨
 逸の軍人と國民とに讀ませる爲めに
 作つたもので、國外への輸出は禁止
 したものである。それを英國人が竊
 ゐて翻譯して了つた、それを又た中
 外新論が譯載し、更に時報が失敬し
 て轉載したのである。

衛生講話

高岡醫師

痔病の話

さか打棄つて置いても、生命に
關する病氣で無いので投げやり
にされ易い。そのせいで中々うるさい
病氣で氣分にも障るし、労働にも大
に差支へる場合が多い。時には油斷
大敵で知らず、他病を惹き起す様
な事もある。けれども平素注意して
さへれば大した事にならずに済む
病氣である。

○痔病にはこんなものがある

普通には肛門の病氣をなんでも痔病
と稱してゐる様であるが、
切れた痔と云ふのは肛門裂で便の
出る時非常に痛みを感じ、便に血が附
いて来るのが特徴である。
痔瘻は肛門の外か、或は内側に細
い穴が出来、病氣で大抵は肛門の近
所に汁が出てジメ／＼湿つて居る次
に一番多いのは

痔疾で俗にいへば痔は此一種であ
る。此病氣は肛門の静脈が云々根にバ
タチ／＼がクツ附いた様なもので
血の管の一部が膨れて塊になつて
出来るのである。外痔と云つて容易
く見える部分に出来るものと、一寸
見られぬ部分に生ずる内痔とがある。

内痔の方は出血する機會が多く、俗に
走り痔と云われて盛に出血するの
これである。これを器械で覗いて見
ると、恰度毒の様に膨れて赤く、破
れうになつてゐる。特に婦人は耻
かしい、きまりが悪いと云ふつまら
ぬ感情で姑息にして置く場合が多
く、爲めにひどい貧血に陥り、或は
爲めに弱つた處に結核などが侵入す
る事があるから用心せねばならぬ。

脱肛は多く痔疾に伴ふもので、痔
疾を永く持つてゐるか、手當てが悪い
時にひどくなるもので、肛門の一部が
薄弱になり脱出するのである。殊に
老人になると中々治り悪く、非常に難
澁するものである。
○痔病の大原因は不潔と便秘
である、此外に痔の原因としては

米作地などにある如く水に浸つて身
體を冷やす事、強い酒を繼續して飲
む事、下痢が續いた場合、婦人なら
妊娠などが原因になる、其他凡て強
くいきむのが痔に悪い影響を與へる
日本人に特別痔疾の多いのは便所の
構造が不良の爲めと云われてゐる。
此點に關しては、フオラは同様で
あるから、痔の養生家は腰をかけて
緩つくりやれる洋風の便所からこし
らへてかゝる可きである。次に肛門
を裂く、素人手術は六ヶ敷い。

○痔疾の養生と手當て

養生としては前に述べた悪い條件を
改める事が急務である。次に
主原因の便秘を治す事である。
此目的に藥を用ひる事は最後の手段
として容易にやつてはならぬ、う
れで最初便秘性の人は毎朝規則的に便
所に行く習慣を作る事、毎朝冷水一
杯を飲む、腸の働きを良くする爲め
下腹の冷水摩擦、或はマツサージを實
行する、野菜を多く食つて自然に便
通ある様にすることなどが肝要である。
尚刺戟物ビメンタ類の如きは禁物で
ある。

○痔が増悪した時の手當て
先づ脱肛があれば丁寧に壓迫して
納める、時には油を付けて柔かくし
てやる必要がある、小兒だと特に兩
親が注意して便通毎に良く納めてや
る。痔が腫れて痛む時は仕事を全くと
んで静養して居る、同時に軽いブルカ
ン部を湯タンボ或は熱湯で度々濕布
すると、どんなにひどいものでも必ず
治る。

度々出血する場合、肛門内に挿入
する痔の坐薬と云ふものを用ゐる必
要がある。
以上の養生或は手當て治つても反復
して痔に悩む人は根本的に手術し
て治す可きである。

○サントカーザ寄附
者芳名並金額(第九回)
(七月十六日迄ノ分)

一 金二五五	中島勘五郎	一 金三三	池長宗三郎	一 金三三	三浦藤太
一 金二五五	後藤順太	一 金三三	杉本仙吉	一 金三三	本田龜昌
一 金二五五	須田民次	一 金三三	井上房吉	一 金三三	親川徳昌
一 金二五五	竹村清一	一 金三三	松本善意	一 金三三	松木健次郎
一 金二五五	真保貞忍	一 金三三	矢野彦次郎	一 金三三	田尻作次郎
一 金二五五	竹村常平	一 金三三	堀江金吾	一 金三三	久保田喜市
一 金二五五	石井久藏	一 金三三	矢野新一郎	一 金三三	小山與惣未
一 金二五五	齋藤傳四郎	一 金三三	八野作治郎	一 金三三	津嘉山朝春
一 金二五五	上江田幸明	一 金三三	矢野正助	一 金三三	山口國吉
一 金二五五	玉城幸一	一 金三三	森崎三平	一 金三三	岡野豊吉
一 金二五五	金城幸一	一 金三三	信田軍治	一 金三三	本田實吉
一 金二五五	島袋次郎	一 金三三	中井喜一	一 金三三	秋山清太郎
一 金二五五	金城	一 金三三	三坂嘉藏	一 金三三	武田鶴馬
一 金二五五	親富松	一 金三三	田原忠八	一 金三三	三隅國俊
一 金二五五	伊佐松	一 金三三	古賀忠三郎	一 金三三	宮路俊藏
一 金二五五	湯村彌助	一 金三三	北内助藏	一 金三三	國岡政雄
一 金二五五	押切留次郎	一 金三三	伊藤熊雄	一 金三三	村井稔弘
一 金二五五	櫻井八郎兵衛	一 金三三	馬田與三郎	一 金三三	宮平我郎
一 金二五五	河崎玉藏	一 金三三	古賀作太郎	一 金三三	新垣三良
一 金二五五	栗木秋太	一 金三三	藤邊神市	一 金三三	與那嶺武太
一 金二五五	内山吾三郎	一 金三三	小柳俊吾	一 金三三	吳屋加那
一 金二五五	平田源藏	一 金三三	矢野友次	一 金三三	賀數輝俊
一 金二五五	古賀伊三郎	一 金三三	岩崎虎吉	一 金三三	宮城蒲蒲
一 金二五五	内山常次郎	一 金三三	大石開藏	一 金三三	城間蒲蒲
一 金二五五	鈴木重雄	一 金三三	岩崎平太	一 金三三	玉那富信
一 金二五五	大畑清次	一 金三三	平田清吾	一 金三三	安里宣治
一 金二五五	栗田平市	一 金三三	熊懷彌市	一 金三三	中座三良
一 金二五五	比嘉龜三	一 金三三	南喜三郎	一 金三三	吳屋厚禮
一 金二五五	上地龜三	一 金三三	渡邊春治	一 金三三	新垣調附
一 金二五五	比嘉源德	一 金三三	吉田又三郎	一 金三三	與那嶺與次
一 金二五五	平良盛善	一 金三三	大鹿桑三郎	一 金三三	新垣武太
一 金二五五	安里孝德	一 金三三	白石期太郎	一 金三三	山那義加
一 金二五五	比嘉正德	一 金三三	稅田善六	一 金三三	同義加
一 金二五五	比嘉龜正	一 金三三	小澤繁藏	一 金三三	同義加
一 金二五五	島袋光龜	一 金三三	鈴木勝七	一 金三三	同義加
一 金二五五	川崎改之重	一 金三三	井口佐助	一 金三三	同義加
一 金二五五	相原利平	一 金三三	廣瀬増藏	一 金三三	同義加
一 金二五五	目黒正雄	一 金三三	梶原力太郎	一 金三三	同義加
一 金二五五	金子美雄	一 金三三	白井金吾	一 金三三	同義加
一 金二五五	仁井山保太郎	一 金三三	川口清作	一 金三三	同義加
一 金二五五	五十嵐文吉	一 金三三	後藤七郎	一 金三三	同義加
一 金二五五	星野謙次郎	一 金三三		一 金三三	同義加

カンブイ耕地

●新植付 本年植付するべき珈
琲樹数は六十萬本にして六年
契約手入受入に應ず
●特點 一年契約のころ、
土地を好まぬ次第に貸與し又獨
立農夫に對しても無償に且
無制限に大なる沃地を供す
●概況 當耕地は二百萬本の
珈琲樹を有し、總面積二萬六
千アルケルを占め耕地内を
横斷する鐵道は十二驛を以て
通ず、目下六十餘の日本人
家族あり
●一度當耕地に來つて同胞諸
君に問合されば農夫の爲め有ら
ゆる有利條件を提示しつゝ、あ
るを知る可し、即最良の氣候
運搬の便、穀物耕地のため供
給する無限の土地生産力旺盛
なる齡六七年の新珈琲樹園
毎二ヶ月の全勘定支拂 收穫
物賣却の自由等を目撃すべし
●詳細は左記へ問合され度し
Guido Traballi,
Fazenda Canubhy
Matão

珈琲と綿の歩合

●珈琲園の手入採取と綿作との
目的とする歩合作人数十戸を募集す
●作人は珈琲及び棉花收穫の若木の場
所ならば半額、古木の場所ならば三
分の二を所得し、家屋、食料及び諸
穀物耕作に適良なる間作地を貸與す
●地味肥沃にして手入行局き居り且つ
●今回の需害を免れ明年度の收穫多大
なる見込みあり
●契約期間は望みに應ず、入耕は九月
十月間、御照會次第詳細書を送呈す
●希望者は大至急申込を乞ふ
申込所
SEIOW SAIBARA
Esq. P. João Alfredo
(Via Piracicaba) L. Sorocaba
E. de S. Paulo
ボルト、ジョアン、アルフレッド
西原農園

伯刺西爾拓殖會社

「イグアペ」植民地

●當植民地は醫師、獸醫、農業技師、測量技
手、園藝得業士等常置し植民の保護誘掖
上必要なる組織を有す
●當植民地は道路四通八達交通自在なり
●當植民地に於ては新來植民は耕作時期
まで日雇又は請負の勞働に従事すこと
を得
●當植民地には資力乏しき者にて自作
農業爲し得る方法あり
「イグアペ」植民地視察者の爲め「サントス」より
植民地本部「レダストロ」に到る道案内
●汽車の「サントス」發は毎週月曜日(午前九時二
十分)土曜日(此日だけ午前七時)にして其「ジュキア」
着は午後四時
●此間の武等運賃は十軒百レイスなり
●「ジュキア」には停車場近くに小旅店二軒あり。宿料參
針内外なるが投宿の際取極め置く方宜し。
●翌朝汽船又はガソリンランシャにて「ジュキア」を立て
ば當日「レダストロ」に到着すべし
●此間運賃參針なり

●日本近信

●滿廷笑ひ轉る

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

○被告等延擱延擱を否認
○被告等延擱延擱を否認

文法

動詞の用法につき説明の不完全なる點を補ふ爲め茲に讀者の注意すべき諸點を解く可し。

ブラジル語講習録

- A Qual é a época melhor para a plantação.
- B E' preferível plantar no principio da estação das águas.
- A Um alqueire de terra quantas arrobas produz?
- B Geralmente, em terreno fértil e novo, o algodoeiro pode produzir 250 a 300 arrobas por alqueire.
- A Eu o acho muito demais. Me disseram que a média de produção por alqueire é 200 arrobas.
- B Mas isso é o calculo na terra não própria para esqá cultura.
- A Seja como for, é bom negocio plantar o algodão.
- B Com muito prazer. Sempre a'ssuas ordens.

田舎旅 (うの十四)

渡邊孝

バレットスへ直通の積りで黒河を
出た處がボンタルで行きつまつて汽
車は翌々日しかなく、黒河の客引き
さん達は職掌外のことには随分御勉
強もされるが、聞かぬと、時間割な
が一向無頓着な方もある、それで
は吾々百姓共は困ります、余儀なく
スカラ旅館といふに宿つた、夕方主
婦が、チャボンタ食だといふ、チャ
ボン呼ばはりには胸糞を悪くして行か
すにゐると、二度目には一體喰ふの
か喰はんのかと氣色立つ、何といふ
勇悍な主婦さんだらう、翌日方向を
轉じてテララ、ローシヤ方面に向ふ
た。

サンパウロ、ゴヤス鐵道とはパウ
リスタ鐵道とバサゼン驛から左折し
てモデ河を渡りヒタングラ町を經
ベドールに出で更にビリヤ、オリ
ンヒヤに達する主線及びイビチユウ
バ驛からビラドローを經てテララ、
ローシヤに出づる全延長一五六キロ
米突の鐵道をいふので、本線の沿道
は矢張珈琲である。

テララ、ローシヤはほんとにテラ
ラ、ローシヤで地味の肥沃なところ
他に類例を見ない、日本人のある
といふをたよりサン、セバスタチ
ン耕地に行つたら支配人からつまみ
出された、耕主と話ししたいといふ
たが耕主は頑張る、組合の證明
を見せても一向にきかぬ、理
窟をいふと益々無茶を言ひ出す、即
ち荷馬車に飛び乗つて停車場に退却
した、後で日給五ミルも出して聖市
から呼び集めた綿採取の白屋を附近
の日本人が種々な方法で引張り出し
たのでかく迄支配人の神経を興奮さ
せたことが判明した、無理もない次
第だ。

労働者拂底の今日、春に腹は代へ
られぬので虫のすかぬ日本人にも御
機嫌を取つてゐる耕主もある、中に
は明白に日本人は好かぬ、日本人は
もう嫌になつたといふ耕主もある、
日本人は契約を履行せぬ、契約はブ
リンケードぢやないかと大に憤慨して

ゐた有名な耕主もあつた、殖民地の
伐木が運ぶからとては夜逃げを
やる、米作地の開墾はスバラマ後で
は後れることは特別に働かずに耕地
から退去處分を希望する、日本人
も随分質の悪いことをやる、豆を數
人に契約したの後の金で自己の食料
に當て最後には何處かへ飛んで行つ
て仕舞ふ、田舎には種々な問題、色
々な騒ぎがある、日本人間の悶着で
も、日本人對耕地の問題でも日本人
の言分は何時も立派で、正々堂々た
る者があつた、一度深く彼等の裏面
彼等の心底をのぞくならば大抵はう
んざりして仕舞ふ。

南行紀

坂元靖

▲船中の一
沿岸航路用「カナー」號は、エンブレ
ーザ、ホエック社の所有に屬し噸數
四百五十、二本橋、一本煙筒の小汽
船なる、客、貨兼用の至極調法な汽
船なり、午後五時出帆と甲板一隅の
黒板に掲示しあるも、荷役の井ンチ
向は騒々しく、何時果つることも見
立たず、其の中夕食は終り出帆は遂
に明朝と決す、船室は既に先客に依
つて占領され、吾等は低頭して漸く
船員の室に割込の許可を得てソファ
の上の人となる、されど室内蒸氣を
以て蒸々呼吸苦しくして睡られず
深夜上甲板に出れば海靜かにして
涼風徐るに來り面を吹く快感言はん
方なし。

船は昨晩を解いて南行す、船進む
に伴風波漸く強く多少動搖あり、
正午頃サンシスコ以南第一の良港たる
「サンフランシスコ」に着す、港内の
山紫水明吾等をして歎賞措く所を知
らざらむ。

▲良港「サンフランシスコ」
上陸するや直ちに市内を見物す、此
の日々曜なりし爲め一體に靜肅、正
裝せる男女は高き寺塔の下に集まる
を見るのみ、町家の表面には、以て
AULANGAなる標を掲げ、以て
獨逸人と區別するを見受け、此の町
つらなグワに比して稍や繁昌なるを

都合な黒奴だ、相方の言葉が荒んで
行くので宿の亭主、早口な西班牙語
で各人種、各異つた色を持つてゐる
仲裁を入れた、黒君暫く考へてゐた
がやがて、この日本人はブラジル人
に皆たの様に黒い人間ばかりだ
思ふてゐるらしいといふやきながら
立ち去つた、黒奴は矢張黒奴相當な
議論を立てる。

▲「サンフランシスコ」町
午後三時サンフランシスコを發す、
此の航路日本の瀬戸内の如く海中所
ろゝに小島横はり、島影景色を帶
び、白砂青松海岸に連なるの狀、吾等
旅客の眼を樂しましむるに足る、航
行約一時間水漸く淺く五時半ジョイ
ンビール町に着す、埠頭に集まる老
若男女何れも獨逸語を操り、宛然獨
逸の片田舎に來れるの感あり、是香
椎氏の談、上陸後直ちに客待の自動
車を提へ町内を一巡す、聞く所に由
れば此の青年連轉手は當町郵便局長
の息子、恰も本日は日曜なりしも、
人の自動車を借り來つて労働に服す
と、此の一事能く獨逸人の奮闘振
を示して餘りあり。

點燈の頃ホテル、グラデに投宿す
館員何れも獨逸語を以て用を辨す、
而かも當旅館主は三十に足らぬ青年
にして、祖父が六十七年前に此地
に來り、刻苦勉勵之を子に譲り、更
に孫に遺して今日の旅館を見るに至
れり、尙ほ聞く所に由れば、此の
旅館は八十コントスの巨資を以て本
年五月に新築落成せる由なるが、建
築の具合、内部の設備一として堅牢
ならざるはなく、獨逸人の軍國主義
も此處まで發展するに於ては、吾々
も亦大に學ぶべきの要あるを認む。

▲「サンフランシスコ」町
上陸するや直ちに市内を見物す、此
の日々曜なりし爲め一體に靜肅、正
裝せる男女は高き寺塔の下に集まる
を見るのみ、町家の表面には、以て
AULANGAなる標を掲げ、以て
獨逸人と區別するを見受け、此の町
つらなグワに比して稍や繁昌なるを

▲「サンフランシスコ」町
上陸するや直ちに市内を見物す、此
の日々曜なりし爲め一體に靜肅、正
裝せる男女は高き寺塔の下に集まる
を見るのみ、町家の表面には、以て
AULANGAなる標を掲げ、以て
獨逸人と區別するを見受け、此の町
つらなグワに比して稍や繁昌なるを

▲「サンフランシスコ」町
上陸するや直ちに市内を見物す、此
の日々曜なりし爲め一體に靜肅、正
裝せる男女は高き寺塔の下に集まる
を見るのみ、町家の表面には、以て
AULANGAなる標を掲げ、以て
獨逸人と區別するを見受け、此の町
つらなグワに比して稍や繁昌なるを



子供俱樂部

▲「サンフランシスコ」町
上陸するや直ちに市内を見物す、此
の日々曜なりし爲め一體に靜肅、正
裝せる男女は高き寺塔の下に集まる
を見るのみ、町家の表面には、以て
AULANGAなる標を掲げ、以て
獨逸人と區別するを見受け、此の町
つらなグワに比して稍や繁昌なるを

があれば此法を用ひずして直説法を用ふのである。例へば
Duvido (私が疑ふ) que elle venha,
私は彼が来るやを疑ふ
Creio que elle seja bom.
私は彼が善良ならんと信す
Creio que elle é bom. (確實)
私は彼が善良なる事を信す
Não é certo que venha.
彼が来るやは確かならず
É certo que vem. (確實)
彼が来る事は確かだ
Não sei quem possa escrever.
私は書く事の出来る人を知らない
Sei quem pode escrever. (確實)
私は書く事の出来る人を知つて居る
Diga a elle que venha.
彼れに來いと言ふて呉れ
O que é que devo dizer, se elle viesse.
若しも彼が来る(でもあらう)ならば何ぞ申さねばなりませ
んが
上例に於て veisse を veir とするも可。
従屬法は又願望疑ひ等を表はす爲めに命令法の如き單獨の短句に
用ひらるゝ事あり。例へば
Passe bem. 御達者で(暮されよ)。 Seja feliz 幸福であれよ。 Seja
isso exacto. 其の事は本當であるかしら。 命令法には此従屬法の第
三人稱を用ふるを宜しとす。
例 Diga. 言へ。 Dê-me 私に與へよ。 Faça. 作れよ。 爲せよ。
Digam, Dê-me. Façaam.

ソープレ ア ケルツラ デ アルゴドン
Sobre a Cultura de Algodão (綿の栽培に就て)
オ セニョール ボーデ メ インフォルマール ソープレ ア ケルツラ デ
A O senhor pode me informar sobre a cultura de
アルゴドン
algodão?
あなたは綿の栽培に就て私に知らせ下さりますか
ノン ボーソ インフォルマール ア レスベイト コン エザチドン
B Não posso informá-lo a respeito com exactidão.
うれに就て確にあなたに知らせる事は出来ませんよ
メ ディガトード クアント オ セニョール サイバ デス クルツラ
A Me diga tudo quanto o senhor saiba dessa cultura
ケ メ インテレーサ ムイト
que me interessa muito.
うの栽培についてあなたの知つて居るだけ告げて下さい。大
變面白いですから
エストウ ディゼンド-リエ ケ ノン エストウ ア パー 디ッソ
B Estou dizendo-lhe que não estou a par disso.
うの事は私はよく知らないで申して居るのです
ケル エ ア メリョール クリダーデ デ アルゴドン パラ オ ノーソ
A Qual é a melhor qualidade de algodão para o nosso
エストアード
estado?
コノ州には如何種類が最も宜しいですか
ア クアト ロ クリダーデス ケ ソン アプタス パラ オ ノーソ
B Ha quatro qualidades que são aptas para o nosso
エストアード ア サペル クレーブ ランド ルツセル ビツクボール
Estado; a saber, Cleeve Land, Lussel, Big-ball,
ウプランド イ バウラ サウザ
Uprand e Paula Souza.
此の州に適する種類に四通りあります。即ちクレブランド。ル
セル。ビツクボール。アップランド並にパウラソーザ種です
ケル ア テラ メリョール
A Qual a terra melhor? 最も良い土地は何れですか
エン トード オ エスタード ガ セ オ アリゴドン オ メリョール テレーノ
B Em todo o estado da-se o algodão. O melhor terreno
エ オ アレンノソ バレント フーンド フェーリル
é o arenoso, barrento, fundo e fertil.
州内何れの所にも綿が出来ます。最良の土地は砂質の粘土雜り
の深いうして肥れた土地です

各國電報

日本に於ける伯刺西爾熱

農業者渡伯準備中

現今日本に於ける伯刺西爾熱は、熱に燃え上り、從事せんが爲め本年中に向は六千人程の農業者はサンパウロに渡航せんが準備中なり。日本が消費する珈琲は、伯刺西爾産は品質優良なりと認識せられたるを以て、伯刺西爾産は好評を博しつゝあり、東京に於ける珈琲店には、バウリスタの名稱を冠するもの多あり。

資産家小笠原吉次氏は九十歳の高齢にも拘らず、同州内に大耕地を購置して、珈琲を栽培し日本に供給せんとす。計画の下に一族四十名を率ゐて渡伯すべく、外務省に旅券下附を出願せり。五日東京直電。

因に同氏は高知縣小笠原尚衛氏の一族にして、北海道開拓に成功し、今度更に伯刺西爾に渡航して海外永住、民族發展の實を擧ぐるの希望也。

日本西伯利亞に干渉

東京來電に依れば、西伯利亞に於ける露軍は依然として、經緯せられ又獨逸の恐喝行動に燃え上るを以て、日本政府は之等に對する方針を一定するの止むなきに至り、然れども日本が西伯利亞に於けるべき行動は、總て聯合國と協議の上によるものなり。(紐育發六日電)

日本軍浦鹽斯德上陸

デーリー、エクスプレス紙に到着した電報に依れば、日本軍は去る三日、日、英、米の艦隊掩護の下に浦鹽斯德に何等の抵抗なく上陸を開始せり。(倫敦發七日電)

英軍浦鹽斯德上陸

英軍は去る三日浦鹽斯德に上陸した(倫敦發七日電)

浦鹽斯德に日本軍

日本軍は日本艦隊の掩護の下に浦鹽斯德に上陸したり、英米艦隊も亦日本軍の上陸に際し有力なる援助をなしたり、浦鹽斯德は全く聯合軍の掌中に歸せり。(ジネブラ發七日電)

日本軍と浦鹽斯德住民

浦鹽斯德來電に依れば、浦鹽斯德の住民は多大の満足で、日、英、米の艦隊の保護の下に上陸したる日本軍を歓迎したり。(上海發七日電)

日本愈々浦鹽に出兵す

日本は西伯利亞及び浦鹽方面への出

告

當館事務所左記ノ場所ニ設置シ、當市附近に留帝國臣民ニ關スル事務ヲ取扱フ

右告示

大正七年七月十八日
在リベロン、プレト
帝國總領事館分館
Rua São João, No. 74
Caixa Postal, 144
Ribeirão Preto

常勝將軍の名聲空し

老雄朝潮猛烈に蹴起、杉山を屠る

松田氏の消息

去月三十一日地方巡迴の爲めリベロンの向ひたる松田順平氏は八月一日、日井氏のフロレス耕地、二日半、日井氏のフロレス耕地を訪ねて、就しも新移民諸氏の慰安を勤め、四日グアラバ耕地に北村、廣田、山中君等の肝煎にて同耕地の大略を、夜間新舊在留諸氏の集合を乞ひ、松田氏一場の演説を爲し、五日同地

垣内氏來聖

垣内商店主垣内幸太郎氏は、亞爾然丁に於ける商品取引先き訪問を終へ、先週當市に來り一般の商況視察の上、去る四日リベロに向け出發せられたり

レヂストロ通信

△地震や霜は、伯刺西爾にはないもの考へて居た我々は、聖市附近の野も山も一時に火でも通つた様な霜枯れには驚いた、開けは耕地の方でも随分甚しい相だが、元來雪や霜の害を御存じない伯人先生達は驚いた事だらうと思ふ、然し僅かの距離だがサントス迄來るとバナ、の葉末が僅かに黄ばみたるを見るのみだ、サンパウロ附近に比すれば殆んど御話にならぬ程の相違だ、ジュキア鐵道沿線よりレヂストロ植民地あたり

常勝將軍の名聲空し

一勝一敗打つたたる、は時の運とは云ひながら、常勝將軍の譽れを得し東方の新横綱杉山を始めて、之に引ひき揚ぐ一掃、満面の得意揚々として、從ふ諸豪傑を並べて落花散塵、土俵の塵を捲く東方無二の惡日が、今日(八日)に於て廻り來りしこと是非なけれ

新横綱杉山對朝潮の一番

東方の新横綱杉山は、前場所土附かす勝ち放し、の好成績を収めしに引續き、今場所又初日以來七日間破れ取組もなす敵の名立たる誰れ彼れを破り、飛び復た全勝の譽れを振ふ事ならんと推されし、八日西方の副師當代相撲上手の隨一、大關朝沙西のあり、福柳の敏捷、好敵方の花形三杉磯を一蹴して僅に東軍の優勢を挽回せん、と努めしに續いて、常の花はオウと許りに前日九州山と痛み分けとされる、強高山と引組み力一杯、跳ね飛ばし此の處東西共に花形連に在りて五分々の形勢なりしも、次第で現はれたる西の驍將、大沙は東軍

米作栽培者募集

米作 小川にうみ水清き黒土の場所を與ふ 借地料として收穫高の四分の一納むる事 赤土にして米作地の近かくを與ふ 借地料二分の一なれ共年末にカビンを掃く時は四分の一納入の事 但し綿作地の周囲の間の作物はコロノの物たるべし、位置は耕地上より一里内外の處にして四五年迄の雜木林伐木費一アルケル六十ミル間の食費を借用する事もあり、尙綿種子カピン種子は無代給與す 希望者は至急觀察あれ日本文の御問合せは

職工及カマラダ至急募集

煉瓦製造に經驗ある人二名及びカマラダ數名 一、職工、一千個に對し六ミルレ一、職工を拂ふ(フオゴンの仕事は別務とす) 一、カマラダ、土運搬其の他、雜務、日給三ミルレ一を拂ふ 一、採集ウマドウシアのバナ、切出し七百レートを拂ふ(但しバナ、園中鐵道の設備あり、バナゴチにて一回四打の運搬は頗る容易にして一日四回運搬し得) 一、店、耕地にあり、貸賣、月末のバガメントにデスコナタス、一、家、貸賣 一、土地、望により豊饒なる土地をいくつでも與ふ(目下大々的カンナ園を造り、ビガ製造場の建築中なれば、これを植ゆるも利益なる可し) 一、入耕の際、サントス港よりアントーニナ港迄三等船賃補助着排後仕拂ふ 七月 クラチンガ耕地支配人

長谷川武

宛名 E. HASIGAWA
Caixa Postal 38
(Camara Municipal)
Antonio
E. de Parana

生前辱知諸君

大正二年金礦移民として渡伯せる熊本縣人小島直記氏病氣の爲め長らくサンタカ羅斯、サンタカタリに入院治療中の處本月一日同院にて死亡候間生前辱知諸君に謹告仕候也

御暇乞

拙者當地在留中は一方ならぬ御厚情を蒙り難有奉謝候今同然家事向きの用事にて一時歸郷すること相成り本日解纜のシヤトル丸にて出發致候間略儀に紙上御暇乞申上候

永島藤三

拙者當地在留中は一方ならぬ御厚情を蒙り難有奉謝候今同然家事向きの用事にて一時歸郷すること相成り本日解纜のシヤトル丸にて出發致候間略儀に紙上御暇乞申上候

謹告

拙者當地在留中は一方ならぬ御厚情を蒙り難有奉謝候今同然家事向きの用事にて一時歸郷すること相成り本日解纜のシヤトル丸にて出發致候間略儀に紙上御暇乞申上候

辱知諸君

拙者當地在留中は一方ならぬ御厚情を蒙り難有奉謝候今同然家事向きの用事にて一時歸郷すること相成り本日解纜のシヤトル丸にて出發致候間略儀に紙上御暇乞申上候

生前辱知諸君

拙者當地在留中は一方ならぬ御厚情を蒙り難有奉謝候今同然家事向きの用事にて一時歸郷すること相成り本日解纜のシヤトル丸にて出發致候間略儀に紙上御暇乞申上候

生前辱知諸君

拙者當地在留中は一方ならぬ御厚情を蒙り難有奉謝候今同然家事向きの用事にて一時歸郷すること相成り本日解纜のシヤトル丸にて出發致候間略儀に紙上御暇乞申上候

生前辱知諸君

拙者當地在留中は一方ならぬ御厚情を蒙り難有奉謝候今同然家事向きの用事にて一時歸郷すること相成り本日解纜のシヤトル丸にて出發致候間略儀に紙上御暇乞申上候

生前辱知諸君

拙者當地在留中は一方ならぬ御厚情を蒙り難有奉謝候今同然家事向きの用事にて一時歸郷すること相成り本日解纜のシヤトル丸にて出發致候間略儀に紙上御暇乞申上候

第四十九席 樋口十三郎 勘

婦人欄

間が生活して行く上に於て、誰共通した希望がなくてはならぬと思ひますが、其れはなんでありやう？、是は六ツかしく申せば生向上、平たく申せば暮向の改良なりと思ひますが、皆さん左様はと思ひませんか。

私共は出来る丈儉約して金を貯へるを作ると云ふことは、是非其心か、さうかと思つて食ふ物も喰わ着的なものも着ず、人との交際もせず、小供の教育も怠る様なことなつたなら、之は所謂奢で、生逆戻りでありましょう。

うは申しますもの、儉約と奢は其の境目が判然と致しません、動もすると私共女性に儉約の奢を通り越して、奢に陥り易いのでありますから、こは能く／＼注意なければならぬのであります。

元も日本の様に如何に思つても、居れない事情があるなら仕方がませんが、ブラジルの様に生活易な所では、喰ふこと、着ること、住ふことには、出来る丈意を盡して、周囲の伯人たちに劣らぬ風俗と、樂みとを進めて行けるあります。

多く申しましても別段餘計な金も必要ねばならぬと云ふ譯ではありせん、風俗ならば皆さんが日本からつて來られた着物や、キレをブル風に作り、又は作り直して之に輕ひ、又食物は適當な空地に水を播付け耐食物を豊かにし、且其家の内部を小綺麗に整頓すると外側に草木を植ゑ、其の日其の樂みつゝ、嬉しく面白く暮すこと、ほんの少しの手間と、心掛とでするものでありますから、私共の家庭を中心として衛生を司どり、進め、人と人、社會と家庭とを鹽梅するの役目を持ちます者は／＼も注意すべきであります。

日本金剛
金銀貨多少に拘はず兩替
極上日本鹽

大安賣 一キロ三ルミ
 の肉は骨拔上等品にして一罐五キ入拾五ミル也。送料貳ミル。
 模範英和辭典送料共十一軒○漢和與送料共九軒。

●新荷着
 主佐片地黒打上等品
 八寸十八ミル、二尺二十一ミル、二尺四寸三十六ミル、二尺六寸三十五ミル、二尺八寸三十四ミル、三尺四十五ミル、ガンド二尺八寸十三ミル、送料二尺一寸迄一枚に付二ミル、二尺四寸より一枚に付二ミル、備中クワ十二ミル、鎌カマ五、二枚力、前丁ナ柄摺、墨坪用ケツリ墨百目入一袋五十ミル、五十ゲラム一百ミル、土佐ヤススリー大タ一米ル二百、ヤスリ小七百大中八百、レスノ柄輪金大小〇剃刀砥石七釐、砥石二十釐(目方約五キ)〇本山硝子硝子二釐(ニキロ半)〇タ、キ十六、硝子二釐五百レイス、〇金剛砂一大豆種子リットル六百〇こんにや粉一ロッキン五釐〇にがり(かたま)

◎種子物類
 九日大根〇練馬大長大根〇夏大根方領大根〇二つ寺大根〇時なしかぶ〇白薔薇菜〇千筋京菜かぶ〇白菜〇赤莖ごぼう〇みふ菜〇みちりめんかばや〇千住大葱〇ふたねらう〇ほうろく草〇大豆種子リットル六百〇こんにや粉一ロッキン五釐〇にがり(かたま)

一キロ四什
 實本可仕候
 ラジレ時報市内申込所
 聖市コンデ

サルゼーダス街五一番
木藤商會
 KIDO SHOKAI
 澤醬油取次所 Caixa Postal 1466
 R. C. Sarzedas 51
 S. Paulo

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.
AGENTES DAS COMPANHIAS
NIPPON YUSEN KAISHA :: OSAKA SHOSEN KAISHA

日本郵船會社定期船
博多丸
七月十二日長崎港發
九月三日サントス港着豫定

大阪商船會社定期船
しやとる丸
八月七日ブエノアイスレに向
けサントス港出帆

御用の方は左記 何れかへ御照會ありたし
南西爾移民組合支部
(Caixa Postal 1082)
Rua da Liberdade 40, S. Paulo.
アンツーンネス・ドス・
サントス會社
(Caixa Postal 237)
Rua Libero Badaro 93, S. Paulo.

今般當館に於て在留日本人土地所有者名簿を
作成候に付土地所有者は至急左記の事項を届
出相成たし

一、原籍 姓名

一、土地の所在地及最近停車場名

一、土地の面積及買入地價

一、地價全部拂込済の土地券所有の有無

一、年賦拂込の者は其拂込の方法及契約の
時日并に拂込済金額

右 告 示 す

在サンパウロ市

帝國總領事館

Caixa Postal 1167
S. PAULO.